調査研究部会

X.1060マップ活用WG 活動報告

2026年7月22日

WGリーダー：小坂 和哉（株式会社 NTTデータ）

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

なぜX.1060に着目したか

お客様

セキュリティ対策や運用ってどこがゴールですか？
何かいいチェックリストはないんですか？
網羅的で完璧なセキュリティ対策がしたいです

国際機関などが出しているフレームワークなんかを活用すると
網羅的に書いてありますよ。X.1060とかどうでしょう。

セキュリティSI
NTTデータ 小坂

具体的なこと書いてなくて余計分からなくなりました。。
例えばX.1060ならNTTデータはどこまでサポート出来ますか？

確かに抽象的で難しいね。
サービスマップとかあったらいいですかね？

イイですね！欲しいです。　期待してます。
ついでに他社の情報もある便利です。

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

X.1060とは

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

X.1060とは

ITU-T勧告 X.1060は、サイバーリスク対応のための組織のフレームワークを定義した国際勧告です。
ISOG-J WG6 の「セキュリティ対応組織の教科書」が元になってる。

「組織において、ビジネス活動におけるサイバーセキュリティリスクを管理するためのセキュリティサービスを提供する主体」としての
CDC（サイバーディフェンスセンター）/ CSC（サイバーセキュリティセンター）
を構築しマネジメントするためのフレームワークが記載されています。

つまりSOC/CSIRTに閉じず、組織のセキュリティ全体を構築し、マネジメントするフレームワークです。

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

CDC/CSCの運営における関係者とその役割

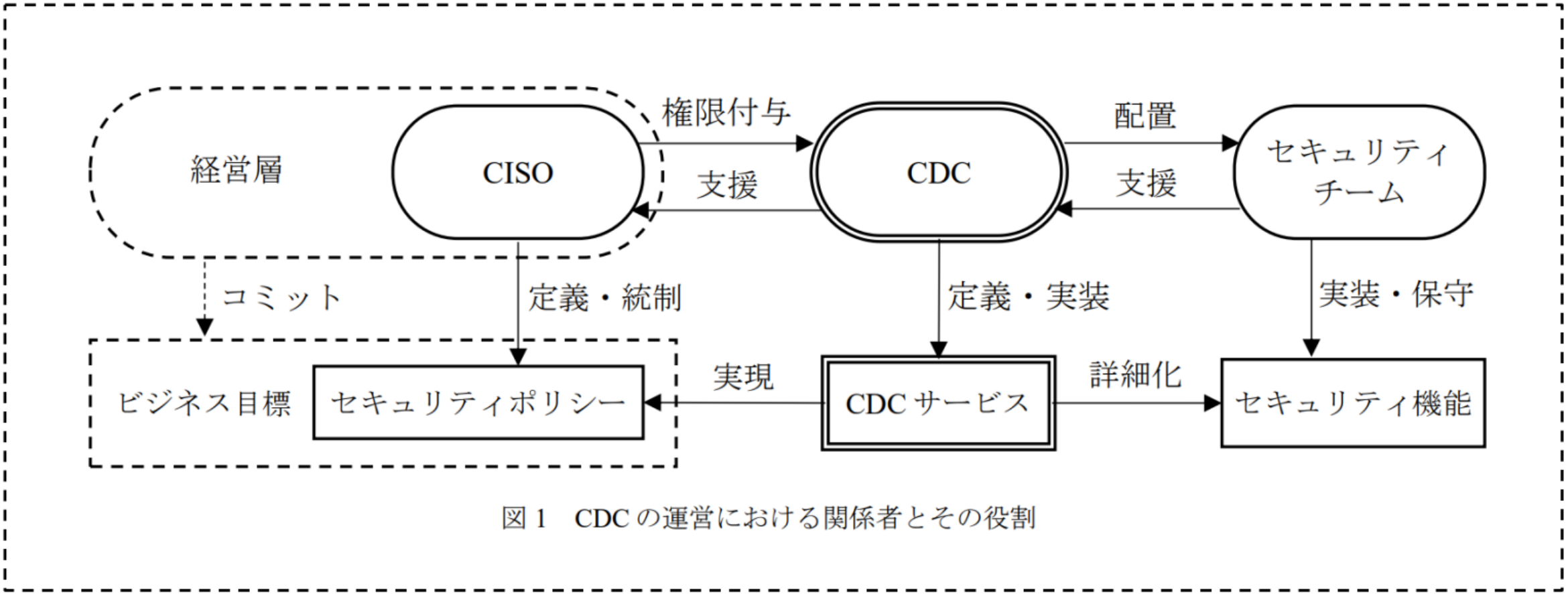


図 1　CDC の運営における関係者とその役割

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

構築・運用のフレームワーク

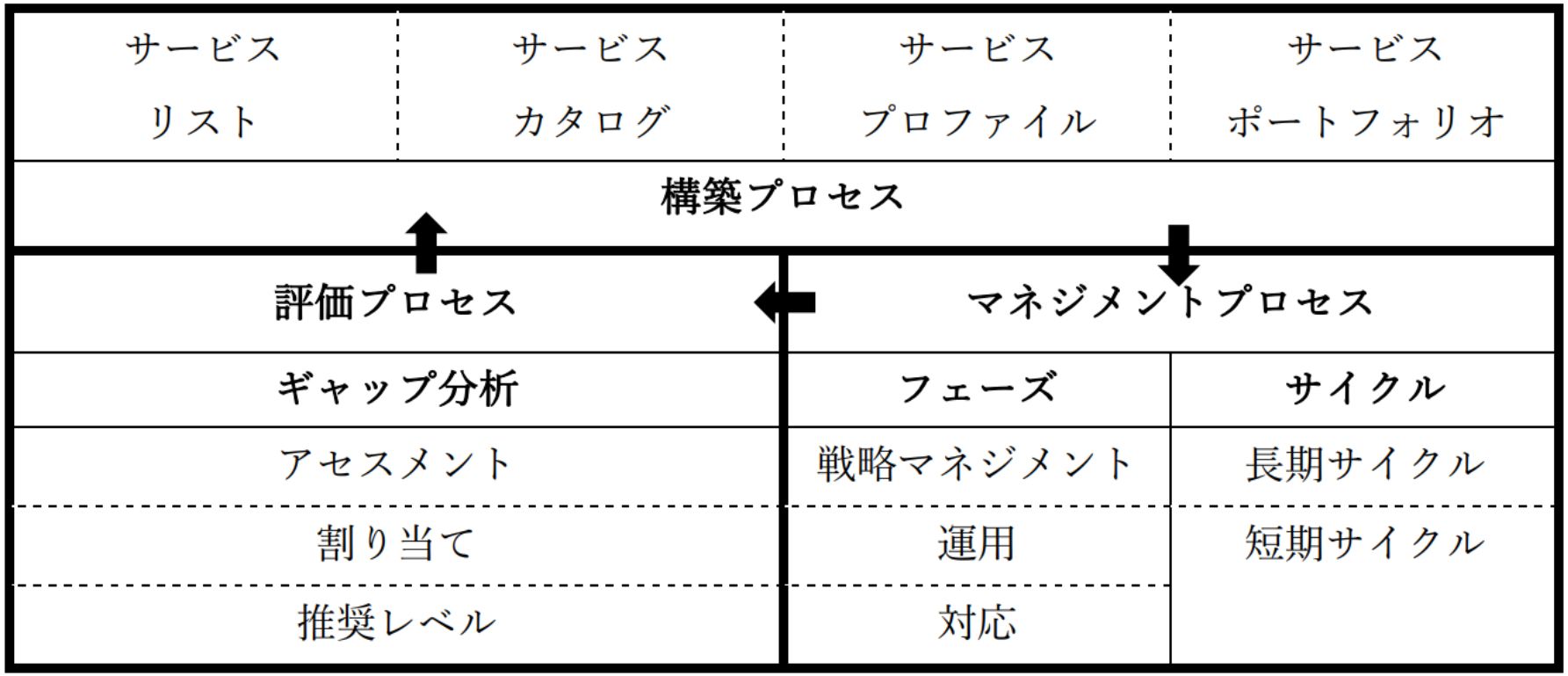


図 8 サイバーディフェンスセンターを構築・運用するためのフレームワーク[12]

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

セキュリティ対応実行サイクル

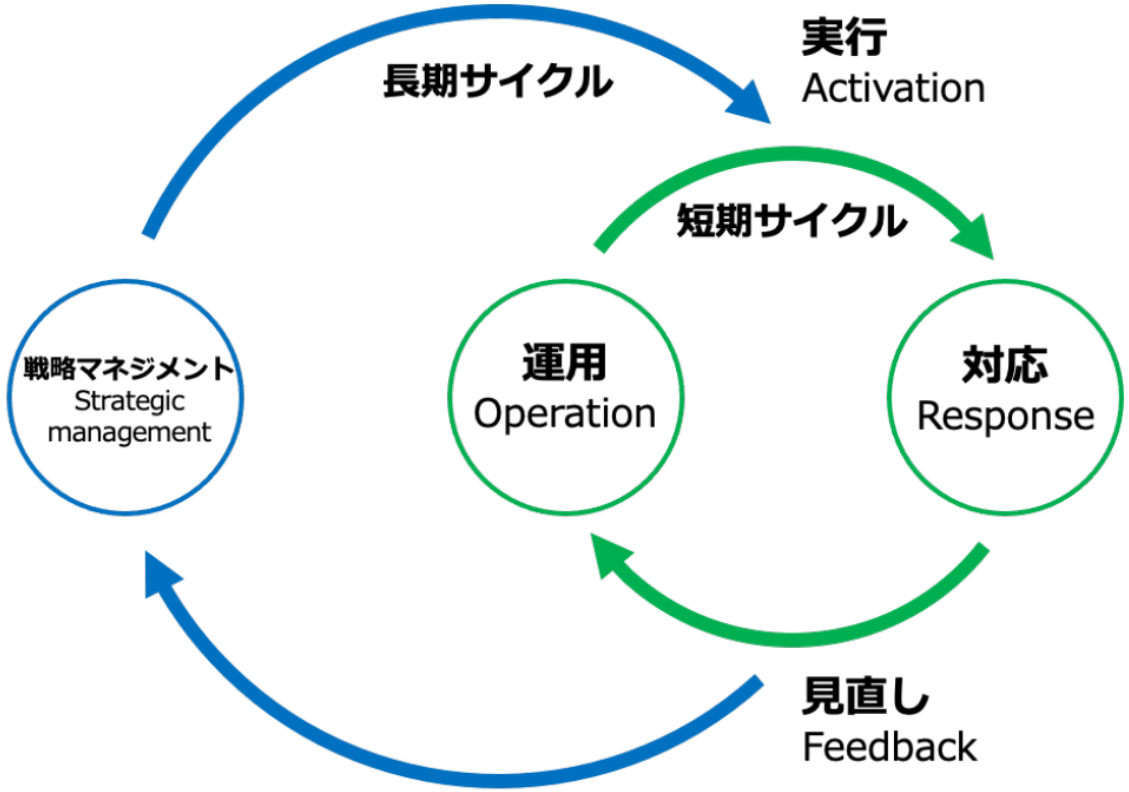


図 11 セキュリティ対応実行サイクル

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

カテゴリー

表 6 X.1060/JT-X1060 のカテゴリー

カテゴリー
A. CDC の戦略マネジメント
B. 即時分析
C. 深掘分析
D. インシデント対応
E. 診断と評価
F. 脅威情報の収集および分析と評価
G. CDC プラットフォームの開発・保守
H. 内部不正対応支援
I. 外部組織との積極的連携

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

カテゴリーと実行サイクル

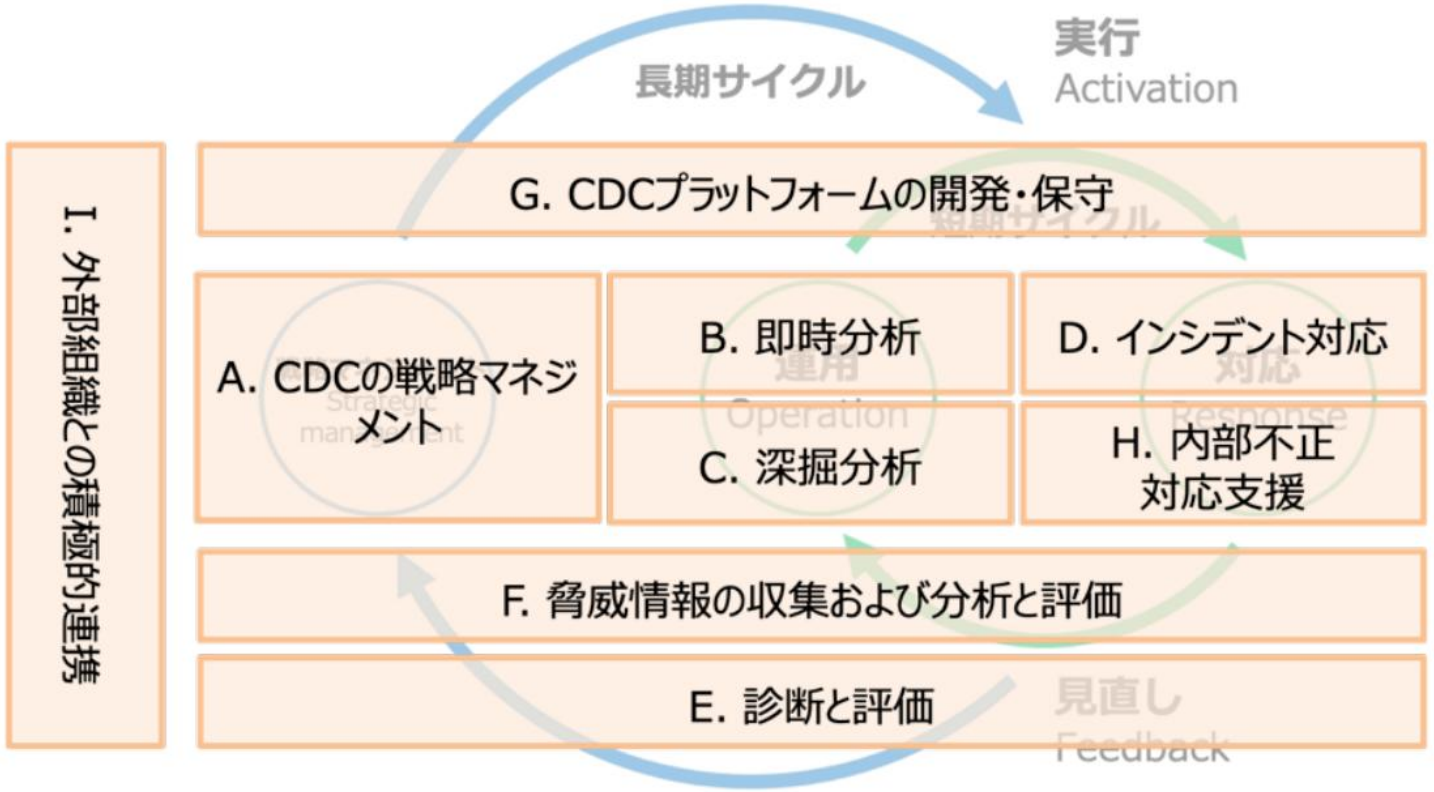


図 13 カテゴリーと実行サイクル

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

セキュリティ対応における役割分担の考え方

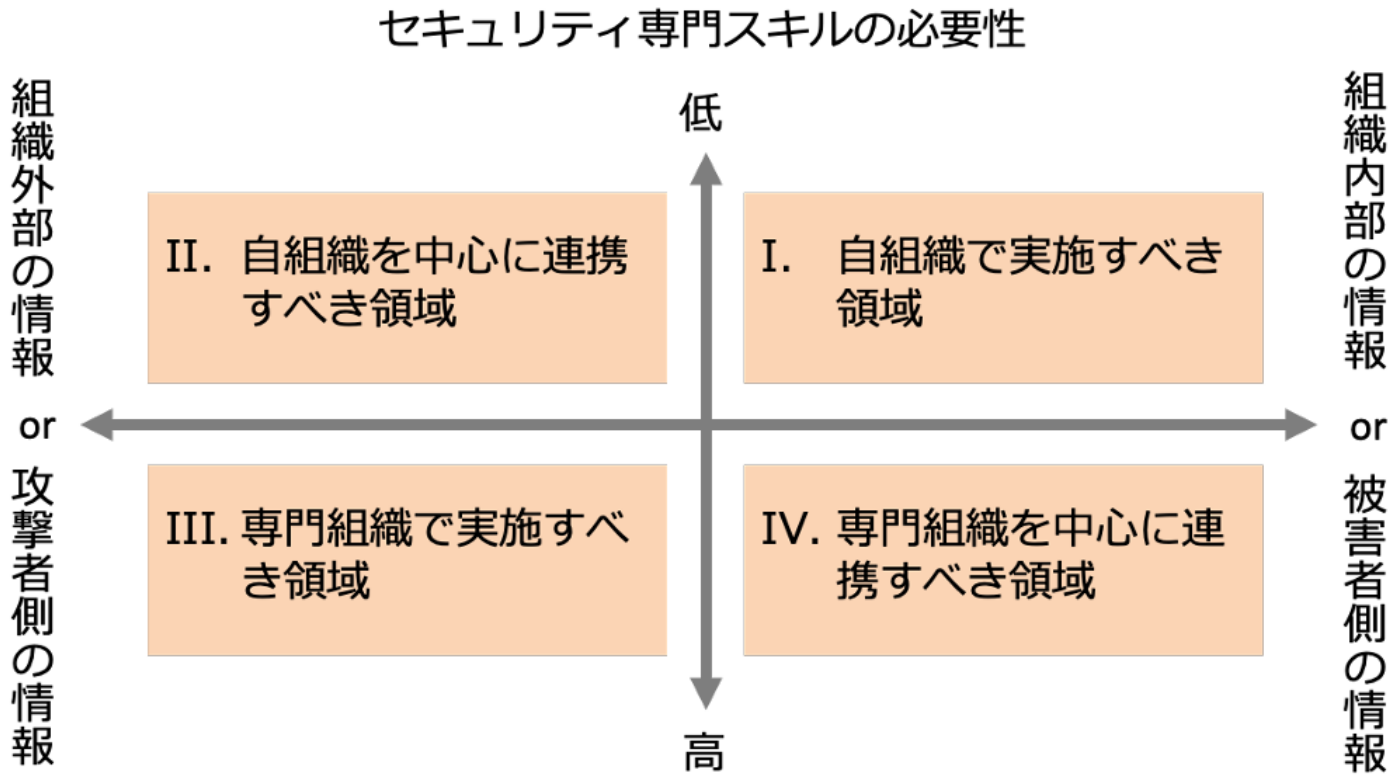


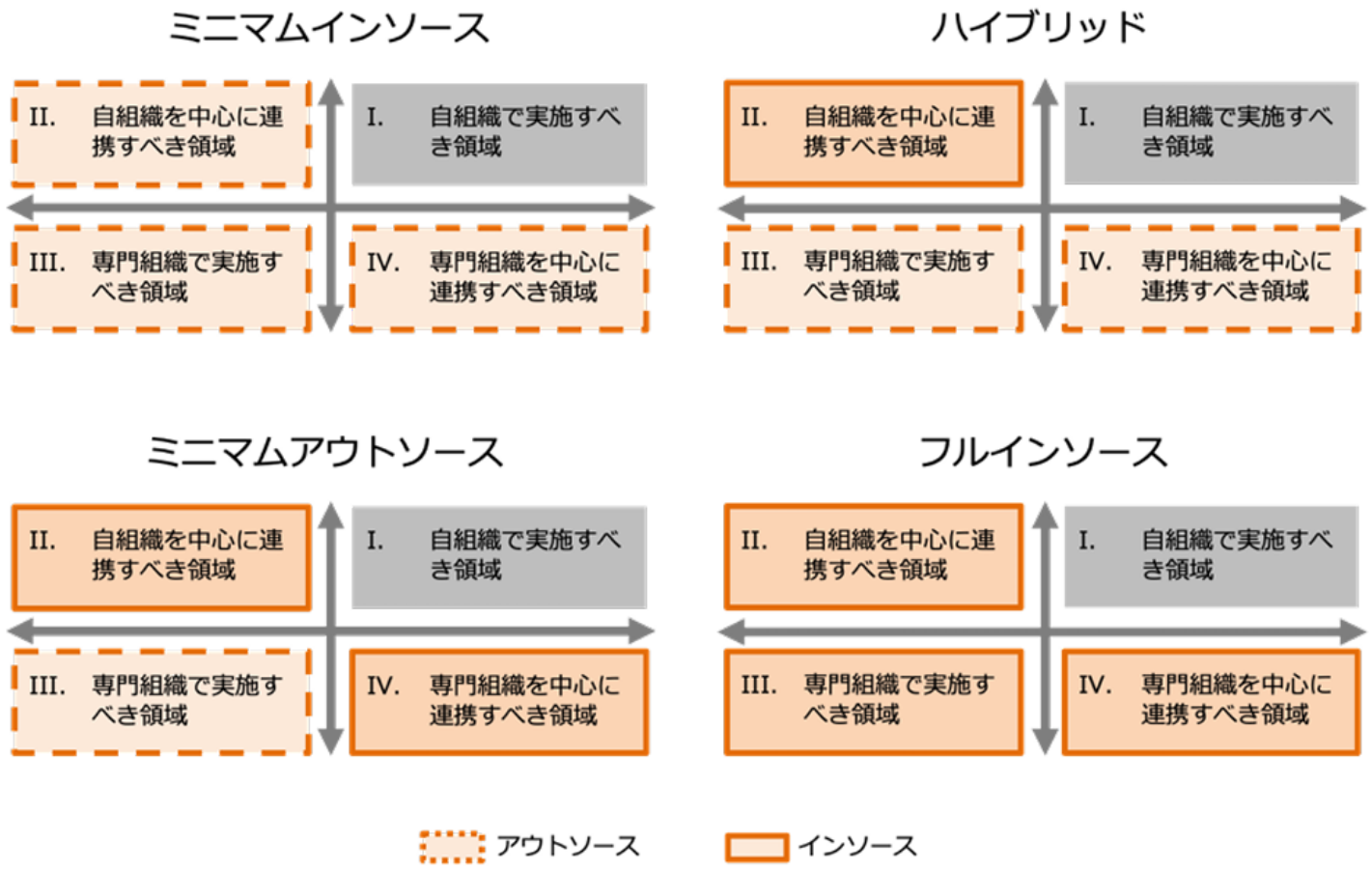
図 17　セキュリティ対応の4領域

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

セキュリティ対応の組織パターン



出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

図 18　セキュリティ対応の組織パターン

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

カテゴリー

表 6 X.1060/JT-X1060 のカテゴリー

カテゴリー
A. CDC の戦略マネジメント
B. 即時分析
C. 深掘分析
D. インシデント対応
E. 診断と評価
F. 脅威情報の収集および分析と評価
G. CDC プラットフォームの開発・保守
H. 内部不正対応支援
I. 外部組織との積極的連携

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

9カテゴリー・合計64個のサービス

カテゴリー	サービス
D. インシデント対応	D-1. インシデント報告受付 D-2. インシデントハンドリング D-3. インシデント分類 D-4. インシデント対応・封じ込め D-5. インシデント復旧 D-6. インシデント通知 D-7. インシデント対応報告
E. 診断と評価	E-1. ネットワーク情報収集 E-2. 資産棚卸 E-3. 脆弱性診断 E-4. パッチ管理

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

セキュリティ対応における役割分担

出典:セキュリティ対応組織の教科書 第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

サービスの説明

B-1. リアルタイム監視

X.1060/JT-X1060 での概要は以下である。

「リアルタイム監視」サービスは、ログやネットワークフローからシステムの状態や不審な動きを監視・分析し、インシデントやイベントに応じて必要な情報を収集し、トリアージを支援する。

主に下記のようなログを監視し、リアルタイムに分析を行う。

- ファイアウォールなどのネットワーク装置からのログやネットフロー、NDR(Network Detection and Response)などのネットワークに関するログ
- IPS/IDS,WAF(Web Application Firewall), DBFW(DataBase FireWall),CASB(Cloud Access Security Broker)などのセキュリティ装置からのログ
- Web サーバーなどのアクセスログ
- AD や DNS などの各種システムからのログ

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

説明はここまで

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

これであなたも明日からCDC/CSCを構築・マネジメントできますね！

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

これであなたも明日からCDC/CSCを構築・マネジメントできますね！？

本当にできますか？・・・

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

サービスの説明

B-1. リアルタイム監視

X.1060/JT-X1060 での概要は以下である。

「リアルタイム監視」サービスは、ログやネットワークフローからシステムの状態や不審な動きを監視・分析し、インシデントやイベントに応じて必要な情報を収集し、トリアー

どこの製品・サービスを用いるか
イメージが難しくないですか？

- IPS/IDS,WAF(Web Application Firewall), DBFW(DataBase FireWall),CASB(Cloud Access Security Broker)などのセキュリティ装置からのログ
- Web サーバーなどのアクセスログ
- AD や DNS などの各種システムからのログ

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

CDC/CSCを構築・マネジメントするには

サービスの説明

B-1. リアルタイム監視

X.1060/JT-X1060 での概要は以下である。

「リアルタイム監視」サービスは、ログやネットワークフローからシステムの状態や不審な動きを監視・分析し、インシデントやイベントに応じて必要な情報を収集し、トリアー

どこの製品・サービスを用いるか
イメージが難しくないですか？

- IPS/IDS,WAF(Web Application Firewall), DBFW(DataBase
- AD や DNS などの各種システムからのログ

もう少し、ヒント欲しいですよね？

出典:セキュリティ対応組織の教科書第3.2版

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

X.1060マップ活用WGを始動

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

X.1060マップ活用WG始動の理由

- せっかく良いフレームワークを日本から世界に発信したのにこのままではX.1060フレームワークを活用してもらう機会が減ってしまう
- 具体的な製品・サービスをマッピングし、フレームワークを使いやすくしよう
- 日本企業が導入しやすいサービスを中心に探していきたい
- 日本企業のセキュリティビジネス活性化や海外展開の促進に寄与する

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

X.1060マップ活用WG FY2025活動報告

6月	キックオフ
7月-9月	X.1060勉強会/X.1060マップ作製
10月-12月	X.1060マップ作製
1月-3月	成果物のブラッシュアップ
3月18日	成果物リリース

※毎月１回程度の定例会合の実施

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

X.1060マップ活用WG 成果物リリース

JNSAプレスリリース

PR TIMES

プレスリリースを受信　企業登録申請　ログイン

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | …

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会

フォロー

成果物「X.1060サービスマップ」を公開

国際標準「ITU-T X.1060」を基盤に国内のセキュリティ製品・ソリューションを体系化

JNSA

2026年3月18日 14時00分

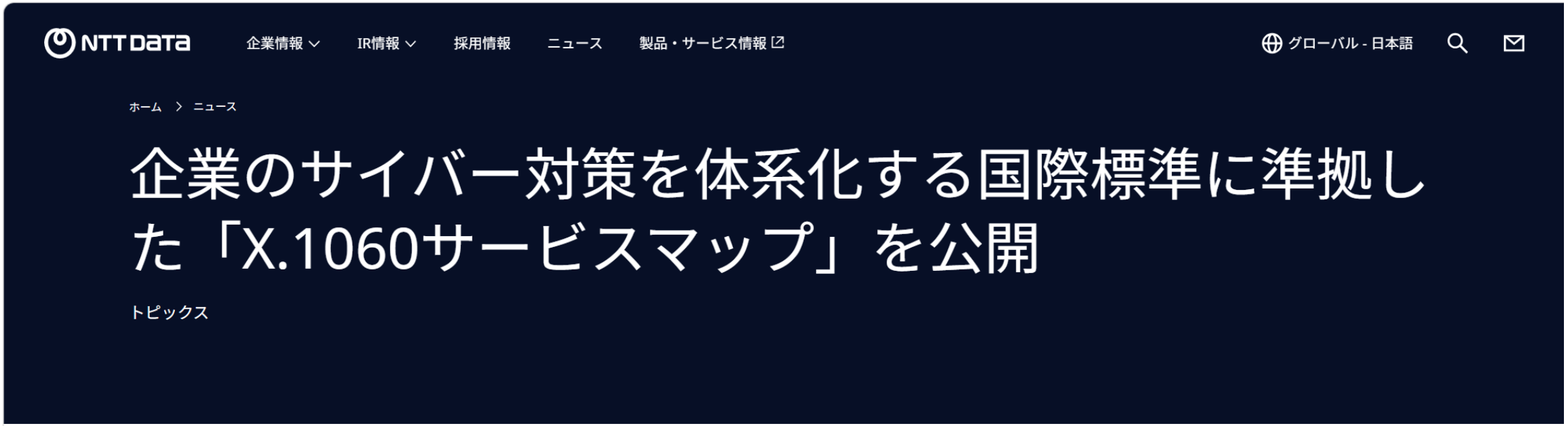
3

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会（会長：江﨑 浩）の調査研究部会 X.1060マップ活用ワーキンググループ（リーダー：小坂 和哉）は、「X.1060サービスマップ」を公開しました。サイバー攻撃が高度化し、企業の防御体制が転換点を迎える中、X.1060マップ活用ワーキンググループ（WG）は、国際標準「ITU-T X.1060」を基盤に国内のセキュリティ製品・ソリューションを体系化した「X.1060サービスマップ」を公開しました。CDC/CSCに必要な64のサービスを一望できる本マップは、組織のセキュリティ運用を可視化し、最適な投資判断や改善計画の策定を支援する新たな指標として注目されています。

X.1060マップ活用WG 成果物リリース

参加メンバ所属会社もリリースを実施

NTTデータWEBページ



2026年3月18日
株式会社NTTデータグループ
株式会社NTTデータ

ニュースについて

ニュースに掲載されている、サービス内容、サービス・製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表日現在の情報です。その

X.1060サービスマップ

リリースメンバー

リーダー

小坂 和哉（株式会社NTTデータ）

メンバー（五十音順）

板倉 恭子（ネットワンシステムズ株式会社）
宇野 文康（株式会社日立システムズ）
大谷 尚通（株式会社NTTデータグループ）
小澤 辰也（シンプレクス株式会社）
河島 君知（株式会社NTTデータ先端技術）
川田 孝紀（NTTセキュリティ・ジャパン株式会社）
小松 源　（EY新日本有限責任監査法人）
坂井 大介（株式会社NTTデータ先端技術）
武井 滋紀（SCSKセキュリティ株式会社）
手塚 信之（SCSKセキュリティ株式会社）
鳥山 歩生（株式会社NTTデータ）
野崎 太一（株式会社NTTデータ先端技術）
前田 典彦（株式会社ＦＦＲＩセキュリティ）
村松 大揮（シンプレクス株式会社）
安井 良典（株式会社読売新聞東京本社）
吉澤 祐吾（ネットワンシステムズ株式会社）
吉田 勝彦（シスコシステムズ合同会社）

掲載場所: https://www.jnsa.org/result/x.1060/2026.html

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

X.1060サービスマップ

参加メンバー企業のサービスを中心に掲載したサービスマップです。

カテゴリー	サービス		x.1060解説文	セキュリティ対応組織の教科書解説文	各社サービス		
	項番	名称			EY新日本有限責任監査法人	株式会社FFRIセキュリティ	株式会社NTTデータ/株式会社NTTデータグループ
					https://www.ey.com/ja_jp/services/cybersecurity	https://www.ffri.jp/services/ffriyarai_managed_services	https://www.nttdata.com/jp/ja/services/security/
A. CDC の戦略マネジメント	A-1	リスクマネジメント	「リスクマネジメント」サービスは、リスクに対して組織を方向づけ、コントロールできるよう、A-2からA-13を含む統括的な活動を実現する。	N/A			UnifiedMDR for Cyber Resilience UnifiedMDR for OT Security
	A-2	リスクアセスメント	「リスクアセスメント」サービスは、組織の資産や脅威、セキュリティ対策の観点から、組織のリスクレベル把握を実現する。	N/A	セキュリティアセスメント		UnifiedMDR for Cyber Resilience UnifiedMDR for OT Security
	A-3	ポリシーの企画立案	「ポリシーの企画立案」サービスは、具体的なセキュリティポリシーの定義や、ガイドラインの作成に関するすべての活動を支援する。	ポリシーは CISO によって決められるものである。CDC やセキュリティ統括における本サービスではその活動を支える役割としての企画立案である。			UnifiedMDR for Cyber Resilience UnifiedMDR for OT Security
	A-4	ポリシー管理	「ポリシー管理」サービスは、ポリシーや組織の規定を評価して定期的に見直しや、新たな外部要件（例えば、規制やガイドライン）への準拠を実現する。	評価プロセスにおいてサービスポートフォリオを見直す際には、経年劣化した規定類の更改も考慮をする必要がある。カテゴリーF「脅威情報の収集および分析と評価」で得られた脅威情報の整			UnifiedMDR for Cyber Resilience

掲載場所: https://www.jnsa.org/result/x.1060/2026.html

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

X.1060マップ活用WG FY2026活動予定

4月-9月　X.1060サービスマップ方向性検討
10月-3月　X.1060サービスマップ作製
3月　成果物リリース

※毎月１回程度の定例会合の実施予定

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

まとめ

- X.1060を用いる事でセキュリティ対策を網羅的に実施が可能です。
- X.1060をより理解したい方、
  X.1060サービスマップにご興味がある方はWG参加をご検討ください。

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会

Copyright 2026 NPO日本ネットワークセキュリティ協会